

登録コード	TOQ17900	開講年度	2026				
授業科目	教職実践演習（中・高）(16T以降)					担当教員	藤井 善章 他
英文授業名	Practical Seminar for Teaching Profession					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・5時限		対象学生
講義室	工C3-100教室		授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】		
	2 5 Tカリ, 2 3 Tカリ						
	【22T～】様々な課題を見つけ取り組む力が身についている。				教育実習での課題を明確にし、現職教員との対話や授業参観・授業研究といった体験的な演習活動を行うことを通して、教員として必要とされる資質や能力の向上に向かう力を身に付ける。		
	2 6 Tカリ						
	【26T～】共通教育による幅広い教養と、工学の専門分野における基礎学力が身についている。				教育実習での課題を明確にし、現職教員との対話や授業参観・授業研究といった体験的な演習活動を行うことを通して、教員として必要とされる資質や能力の向上に向かう力を身に付ける。		
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	各自の教職課程に関する1年次からの履修記録(ポートフォリオ)をもとに、「教師としての使命感・責任感・教育的愛情に関する事項」「教師に求められる社会性・対人関係能力に関する事項」「生徒理解に関する事項」「教科内容等の指導力に関する事項」の4項目についての達成状況を確認し、教職課程の最終段階での各自の課題と目標を設定する。 設定した目標に到達するための手段として、授業参観・模擬授業・フィールドワーク・教材開発等の教育臨床的内容を含む課題解決型の学習を各自が設定し、演習形式で教員として必要な知識技能を修得することをめざす。 なお、授業参観並びに授業分析等は教職担当教員が中心に、教材開発については教職担当教員と教科担当教員が協働で指導を行う。						
(5)授業計画	第1回ガイダンス...「教員として必要な知識技能」の確認と各自の課題の明確化 第2回授業分析の手法を学ぶ 第3回カリキュラム・マネジメントを学ぶ 第4回カリキュラム・マネジメントの視点から、教育実習を振り返る。 第5～6回授業参観(視点を決めて) 第7回授業分析(現職教員からの指導) 第8回授業分析(授業記録の読み取り) 第9回授業分析の成果発表 第10回生徒指導と学級経営 第11回教材開発(素材から教材へ) 第12回教科指導と教科運営 第13回指導案再構成 第14回学校運営とマネジメント能力 第15回成果発表 授業アンケート						
(6)成績評価の方法	教育実習での研究授業を振り返り、課題として指摘された部分について検討し、授業計画を再構築する。 授業参観を行い、授業記録を作成し、授業分析を行う。						
(7)成績評価の基準	規準「教育実習を踏まえて、自己の授業力の課題を明確に持ち、授業参観や演習を通して授業分析の手法を身に付け、実践力の向上に向けて探究している。」 基準...自分の課題を明確に意識し、改善のための方策を探究し、指導計画等具体を伴って再構築することができる。 卓越している（秀，90～100点） かなり上にある（優，80～89点） やや上にある（良，70～79点） 水準にある（可，60～69点） 水準よりやや下にある（不可，50～59点） 水準にない（不可，49点以下）						
(8)事前事後学習の内容	教育実習の振り返り 授業記録の作成 授業分析における他者の意見の考察						
(9)履修上の注意	授業記録の作成と授業分析のレポート 教育実習での研究授業の分析と指導案の再構築レポート 長野市内の協力校での授業参観等を実施する。						
(10)質問,相談への対応	学生に対する評価 臨床学習における取り組み（5割）・教材開授業分析等のレポート（5割）						
(11)その他	質問・相談は，随時，下記で受け付けます． ・藤井 善章：教職支援センター（松本キャンパス），0263-37-3224 e-mail: fujiiy@shinshu-u.ac.jp						

【教科書】	中学校学習指導要領解説 理科編（文部科学省） 高等学校学習指導要領解説 理科編（文部科学省） 中学校学習指導要領解説 数学編（文部科学省） 高等学校学習指導要領解説 数学編（文部科学省）
【参考書】	適宜紹介する。